

つくばイノベーションアリーナ(TIA-nano)

- ナノテクノロジー分野の世界最先端の産学官イノベーション集積を目指し、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、筑波大学、高エネルギー加速器研究機構が中核となり、産学官の研究者を集結し、ナノテク分野の研究開発を集中的に実施(2010年度~)。
- これまで、カーボンナノチューブ、パワーエレクトロニクス半導体(SiC)、MEMS技術を活用したマイクロセンサなど多くの研究開発とその実用化等の実績をあげている。



TIA-nanoの研究領域とコアインフラ
(1期2010~2014年度)

研究領域 Research Area	ナノエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス
	N-MEMS	ナノグリーン
	カーボンナノチューブ	ナノ材料安全評価
コアインフラ Core Infrastructure	ナノデバイス実証・評価ファンドリー	
	ナノテク共用施設	ナノテク大学院連携

TIA-nanoの成果(2011年~2014年)

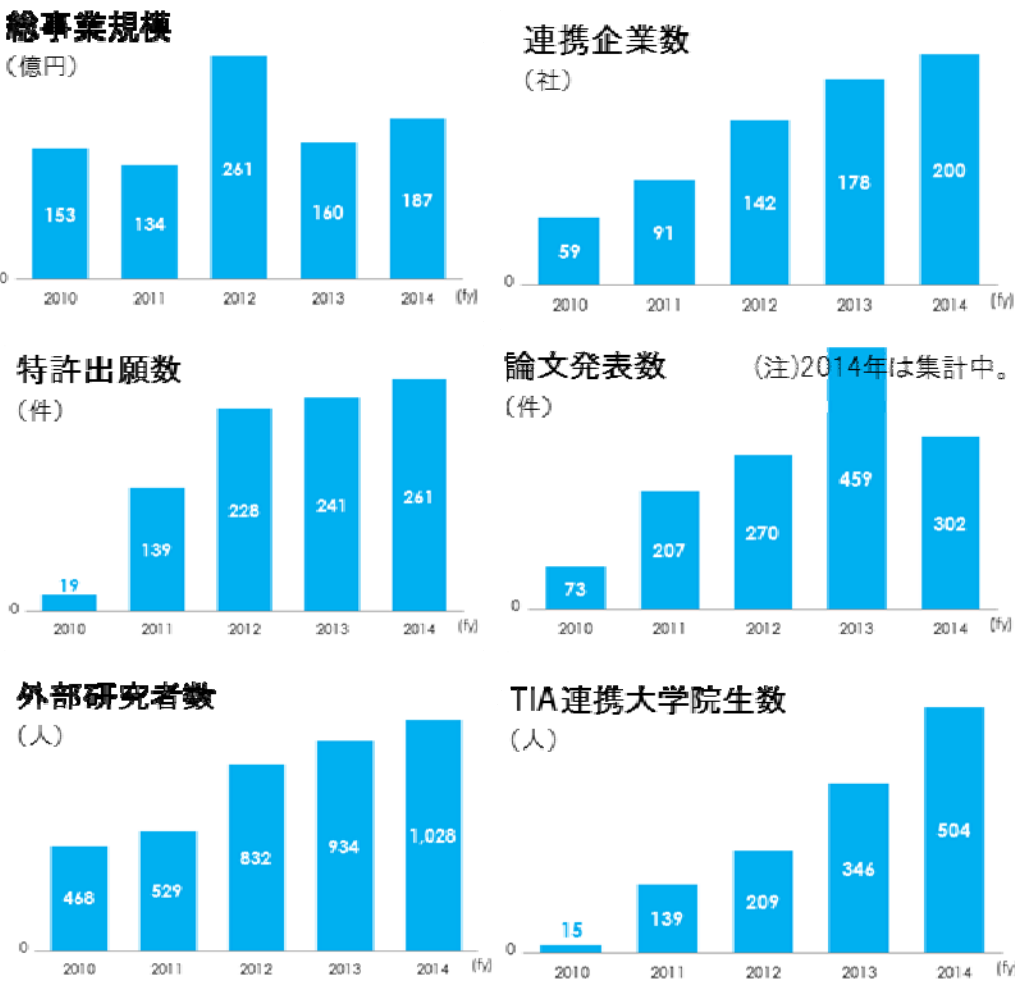
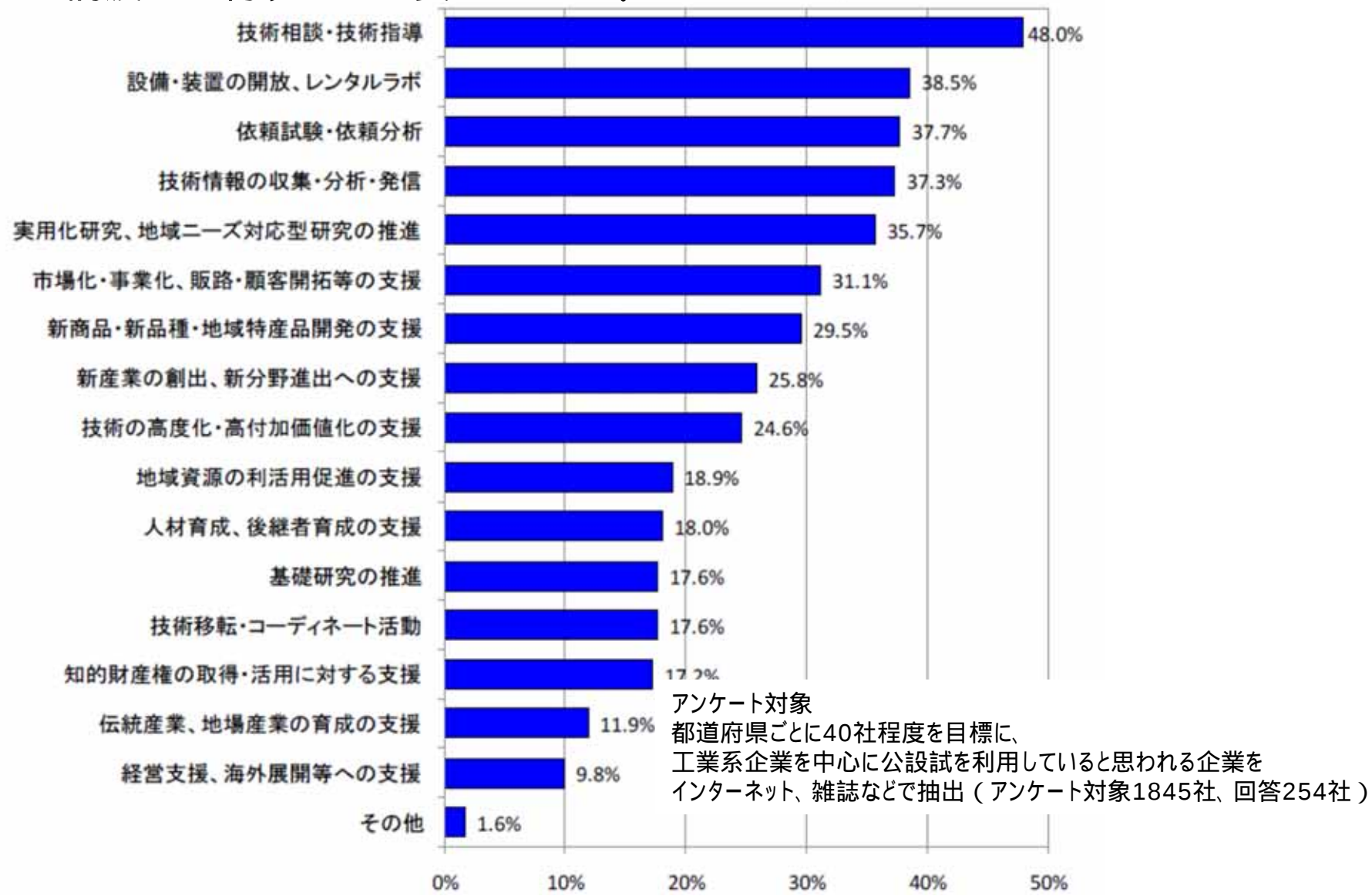


図 15

地域の工業系企業から見た、公設試に強化して欲しい機能

- 工業系企業の公設試に強化して欲しい機能についての上位3件は、「技術相談・技術指導」「設備・設置の解放、レンタルラボ」「依頼試験・依頼分析」であり、地域イノベーションにおいてこのようなニーズをくみ取れる「橋渡し」を行うことが重要ではないか。



出典：「地域イノベーション創出のための公設試験研究機関の役割等に関する調査」調査報告書
（平成23年3月）財団法人全日本地域研究交流会

産学連携に求められる人材

○産学連携における課題として、大学や高専では全般的に、産学連携支援人材の確保や育成や支援ノウハウの蓄積が不足していることが最上位に挙げられ、優れた人材の派遣や育成支援が重要ではないか。

	1位	2位	3位
国立大学	○産学連携支援人材の確保、育成や支援ノウハウの蓄積	○産学連携、知財活動実績の低迷、具体的成果の創出、産学連携運営費の捻出	○企業との認識のギャップ、企業との関係構築(情報管理や地域企業、ベンチャーとの関係含む)
公立大学	○産学連携支援人材の確保、育成や支援ノウハウの蓄積	○校内シーズ、企業ニーズの把握や両者のマッチング、大学等の成果の情報発信	○産学連携の裾野の広がり(関係する研究者が限定)、大学等内での産学連携の啓発 ○産学連携の受け入れ体制や規定の整備
私立大学	○産学連携の受け入れ体制や規定の整備	○産学連携支援人材の確保、育成や支援ノウハウの蓄積	○産学連携の裾野の広がり(関係する研究者が限定)、大学等内での産学連携の啓発
高専	○産学連携支援人材の確保、育成や支援ノウハウの蓄積	○校内シーズ、企業ニーズの把握や両者のマッチング、大学等の成果の情報発信 ○産学連携の裾野の広がり(関係する研究者が限定)、大学等内での産学連携の啓発	—
研究開発独法	○校内シーズ、企業ニーズの把握や両者のマッチング、大学等の成果の情報発信	○産学連携支援人材の確保、育成や支援ノウハウの蓄積	○産学連携の裾野の広がり(関係する研究者が限定)、大学等内での産学連携の啓発

出典：大学等発ベンチャー調査2010-大学等へのアンケートに基づくベンチャー設立状況とベンチャー支援・産学連携に関する意識-(2011年) NISTEP